



北陸新幹線ニュースレター特別号

北陸新幹線建設促進同盟会、整備新幹線関係 18 都道府県期成同盟会中央要請概要

➤ 北陸新幹線建設促進同盟会による中央要請

- ・ 11月17日（月）、福井県をはじめ沿線10都府県で構成する北陸新幹線建設促進同盟会は、北信越5県議会協議会、北陸経済連合会と合同で、北陸新幹線の早期完成に関する中央要請を実施しました。
- ・ 金沢・敦賀間の開業時期の3年前倒しとその実現のための安定的な財源の確保、大阪までのフル規格による整備方針の明確化などを国土交通省や与党などに要望しました。
- ・ 西川知事は、衆議院解散・総選挙にかかわらず、来年度の予算編成までに結論を出すよう強く求めました。
- ・ 太田国土交通大臣からは「解散とは別に今回の予算編成で決着させたい。」町村与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム座長からは「予算編成までにしっかりやる。安心してほしい。」との発言があり、解散・総選挙とは切り離し、来年度予算編成の中で結論を出す方針が示されました。



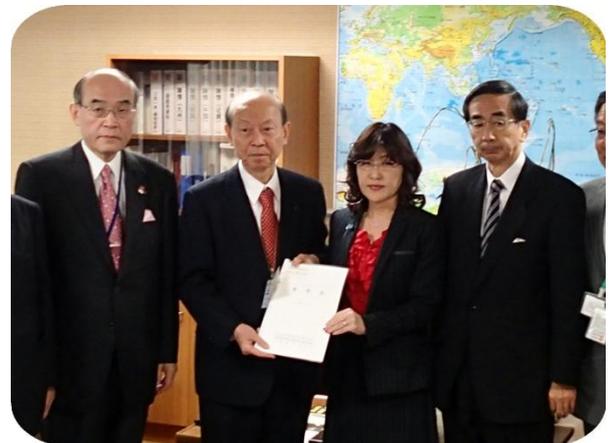
太田国土交通大臣

➤ 整備新幹線関係都道府県による中央要請

- ・ 翌11月18日（火）、福井県などで構成する整備新幹線関係18都道府県期成同盟会は中央要請を実施し、太田国土交通大臣をはじめ、整備新幹線に係る政府・与党ワーキンググループメンバーである世耕内閣官房副長官、二之湯総務副大臣等に対し、新規着工3区間の工期の大幅な短縮などを要請しました。
- ・ 本県からは石塚副知事が出席し、敦賀開業の3年前倒しや大阪までのフル規格による早期全線整備を求めました。
- ・ 世耕内閣官房副長官から「政局に関係なくワーキングを行い、財源をしっかりと検討する。」、太田国土交通大臣からは「よく分かっており、今努力しているところ。」との発言がありました。



町村与党整備新幹線建設推進PT座長



稲田自民党政務調査会長

